

然るに海軍省方面に於て争議の發展を國防上の見地より憂慮し、争議の結果を注目すること甚しき  
に到るや其方面の情意を體せる松方巖氏下神するところあり、十八日非公式なる大株主會の開かる、  
に及び、大株主會は國家的見地より永留常務の處置を是認することとなりしたため、名和氏等の運動は  
遂に水泡に歸し、常務は思ふがまゝに其策を行ひ得るに到れり

## 八、持久戰の開始

三菱、川崎兩社共休業を發表して工場締出を斷行するに至りしより職工側は示威運動を以て持久の  
策に出づる方針なりしが、十四日以来之を絶対に禁止せられたるより、十四日夜友愛會神戸聯合會本  
部に集合せる三菱、川崎の争議團幹部は爾後の運動集合方法に關し鳩首凝議したるが、行き處なく自  
宅にて不健全なる生活を爲さしむるよりは士氣を鼓舞し且つ危機勃發を防ぐ手段として大争議に於  
ける前例に倣ひ職工大運動會を開催する事となり左記の日割の決定を見たり。

- 十五日 野球(長田眞野池、兵庫西代庄ノ池)  
相撲(長田兵電管留場、東山遊園地)
- 十六日 摩耶登山
- 十七日 底技運動會
- 十八日 水泳大會(境沼)
- 十九日 野球

- 二十日 相撲大會
- 二十一日 水泳大會
- 二十二日 マラソン競争
- 二十三日 野球
- 二十四日 納涼運動會

斯くて七月十五日川崎造船所各職工側にあつては造機、製罐は大倉山、造船電氣は會下山及び東山  
遊園地、兵庫工場は假留監跡に又三菱造船所職工團は和田神社その他和田濱等に何れも工場出勤時間  
の七時前後に於て續々集合し大倉山には八時頃までに約二千名の集團を見るに至れり。應て賀川豊彦  
氏は姿を顯し「結束は労働者の勝利だ」と今後労働争議に處すべき職工團の結束につき訓示を行ひ、  
尙十六日は午前七時までに摩耶山登りを決行する故諸君は兵庫葬禮道の善光寺前に集合されたと述  
べ、随時に解散せしめられたればその一團三々伍々會下山、東山遊園地等にて造船及び電氣部の集合して  
相撲大會を催しゐる處へ繰込むものあり、又長田眞野池に催されてゐる野球試合の場所に赴くものも  
ありしが、この方面には朝來約三千餘乃至五千餘の集團があり、盛に氣暮を擧げ居たり。九十度に近  
き炎天下に午前十時より造機工組合、向上會員に依りて先づ野球競技始められしが其の最中十一時頃  
突如として兵庫署の警官は群衆に解散を命じたり。委員は何故の解散命令なるかを詰問せし處、警察  
側は「單なる運動會なら差支ないが之を口實に職工が集團して示威運動を行つては困る」と説明し、  
職工側は憤慨しつゝ、も一應解散せるが四五百餘人は午後まで残りて競技を續けたり。